

事業報告書

事業名	人材育成事業	部会名等		
実施時期	令和4年7月29日 ～ 令和5年3月31日			
実施内容	<p>①先進地視察研修（高山市） R4/11/18・19</p> <ul style="list-style-type: none"> ■花里まちづくり協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ Lineによる情報発信の仕組みを研修 ■大八まちづくり協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校と連携した防災教育を研修 <p>②フラワーアレンジメント教室（山の手小学校6年生）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■生花と花器を使って自分の作品作る。 ■地域の方15名参加 <p>③職業講話（先輩に学ぶ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■別府西中学校（1・2年生 300名） ■浜脇中学校出身の芸人（別府ちゃん）の講話 ■地域の方30名参加 			
事業の成果	<p>①今と未来を見据えた活動が大事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Lineを使った連絡、広報、地域住民への情報発信 ・ 防災教育と地域連携と人材育成の必要性を痛感した。 <p>②ものづくりへの興味と感心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 創造性、独創性、集中力ともものづくりの楽しさを学んだ。 ・ 卒業記念と親への感謝の気持ち（作品を親にプレゼント） <p>③今売れている先輩芸人の苦勞の10年間の話に感動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人は努力することによって夢がかない、そのためには中途半端な気持ではだめだ。忍耐、我慢、人への気遣い等が大切 ・ 肩の張らない楽しい会話と質疑応答で会場は盛り上がった。 			
評価する点、改善点等	<p>①先進地は10年先を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山の手協議会は追いつき追い越せの気概が必要である。 ・ デジタル推進クラブのさらなる充実発展が望まれる。 <p>②③キャリア教育</p> <p>小学校からの取組みが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部出前授業で幅広く人を知り社会を知ることができる。 ・ 地域との連携は社会教育の一環にもなる。 			
連携した団体	（団体名称）			
	（所在地）			
	（代表者）			
	（連絡担当者）	氏名：		
		電話：		
		E-mail：		

事業報告書

事業名	防災減災事業	部会名等	①生活安全部	
実施時期	令和4年7月29日 ～ 令和5年3月31日			
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・山の手ひとまもり・まちまもり協議会 第1部会 生活安全部 防災士会総会 ■日時 令和4年10月23日（日） ■場所 山の手村（別府西中・コミュニティルーム） ■参加者 西地区・青山地区・野口地区（各地区防災士） 自主防災会長 計 20名 ■連絡体制の協議 ■地区地域の防災士の交流 			
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・山の手自治区の防災士の連絡体制を整備するきっかけづくりができた。 ・Lineによる連絡網をつくったらどうかという意見があり今後の検討していくこととした。 ・3地区ではまとまりづらい。 ・避難所運営等については3地区の独自性に任せる。 ・日常の研修やスキルアップ訓練は合同でよい。 ・非常災害時には、3地区の防災士会が取り組む。 ・研修を深める。 			
評価する点、改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ■地域の避難所運営について <ul style="list-style-type: none"> ・野口地区（野口ふれあい交流センター体育館） ・青山地区（山の手小学校体育館） ・西地区（別府西中学校） ■地域の実情に応じて、運営マニュアルに従って運営する。 ■講習や訓練等は、山の手自治区全体で取り組んでもよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換 ・スキルアップ訓練 ・技術交流等 ・先進地視察研修も必要 			
連携した団体	（団体名称）			
	（所在地）			
	（代表者）			
	（連絡担当者）	氏名：		
		電話：		
		E-mail：		

事業報告書

事業名	みまもり事業	部会名等	②社会福祉部
実施時期	令和4年7月29日 ～ 令和5年3月31日		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どもや高齢者への声かけ、気配り、見守り活動のサポートに備えて、のぼり旗10枚、ベスト30着を整備した。 ・地域の横断歩道等に交通安全を呼びかける飛び出しくん6個を整備し、子どもたちを交通事故から守る。 		
事業の成果	子どもや高齢者への見守り活動、交通安全の啓発に備え、協議会の拠点である山の手村に配置し、今後の活動への準備ができた。		
評価する点、改善点等	今年度は、コロナの影響もあり物品の整備にとどめたが、コロナも収束傾向にあることから、次年度幾は物品の整備に限らず、地域のみまもり活動に活用していきたい。		
連携した団体	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名：	
		電話：	
		E-mail：	

事業報告書

事業名	デジタル推進事業	部会名等	③青少年育成部
実施時期	令和4年11月13日 ～ 令和5年3月28日		
実施内容	<p>■デジタル推進クラブのリーダーが中心となり、地域の高齢者にスマホ教室を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日（9日＝9回） ・拠点（山の手村） ・出前教室（野口地区・青山地区） ・スマホの扱いに慣れる。 ・学びあい・教えあい・助け合い（モットー） ・高齢者対象（来る者拒まず） ・スマホの初歩的な扱い。 		
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者 西地区（27名）青山地区（26名）野口地区（28名） ・高齢者対象－出前スマホ教室 野口地区－野口ふれあい交流センター 青山地区－泉田教会（自治会長宅） 西地区－山の手村 ・参加者は、Lineに慣れることができた。 ・別府市公式Lineの扱い方を学んだ。 ・学び合い、教え合い、そして覚えて、楽しさが倍増した。 ・和気あいあいの交流ができた。 ・デジタル推進クラブの6人のリーダーが講師となり、分かりやすく丁寧に指導し、参加者からも好評を得た。 <p>・9回実施 参加者 81名 平均9名 ・リーダー参加回数 48回</p>		
評価する点、改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者への周知や日程調整に苦慮した。 ・参加希望者は、自治会毎に募るのも良いのではないかと感じた。 ・リーダーが仕事を持っているので、日曜など休日に限られた。 		
連携した団体	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名： 電話： E-mail：	

事業報告書

事業名	健康づくり推進事業	部会名等	②社会福祉部 ③青少年育成部 ④健康推進部
実施時期	令和4年7月29日 ～ 令和5年3月31日		
実施内容	①三世代ふれあい交流事業 令和5年2月19日（日） ・ストレッチ体操・昔の遊び・スポーツゲーム ②地域ふれあいミュージックフェスタ ・フラメンコ体験live、歌う、踊る、弾く。 ・ロマの音楽、舞踊がスペイン土着の文化と融合、カンテ（唄）とギター、踊りが一体となり生み出される音楽に触れる。		
事業の成果	①令和5年2月19日（日） 山の手小学校 体育館 ・地域の老若男女が集い交流した。 ・久しぶりの対面行事で楽しくできた。 ・ヴェルスパ大分（サッカーチーム）の選手と交流した。 ② 令和5年3月18日（土）野口ふれあい交流センター体育館 ・地域の老若男女が楽しく交流した。 ・スペインの民族舞踊に触れ異文化の臨場感を体験した。 ・コスチュームや用具、道具の展示があり、伝統文化に感服した。 ・参加者130名		
評価する点、改善点等	①久しぶりの対面行事で、開催が危惧されたがコロナ感染の収束傾向で無事開催された。 ・ヴェルスパ大分の地域貢献による参加で、参加者がおおいに盛り上がった。 ・親子の参加が少なかった。 ②太田マキフラメンコ・アサールの協力で、世界の芸術を体験できた。 ・一流芸術は、人々に感動と衝撃を与える。 ・Replayの要望が上がっている。		
連携した団体	（団体名称）	株式会社ヴェルスパ	
	（所在地）	大分県由布市狭間大字鬼瀬16-1	
	（代表者）		
	（連絡担当者）	氏名：	
		電話：	
		E-mail：	

事業報告書

事業名	事務局運営・人材育成事業	部会名等	—
実施時期	令和4年5月26日～令和5年3月31日		
実施内容	①会議の開催 総会（6/16）、役員会（5/17、7/1、10/19） 理事会（6/3、2/10） 地域部会（8/3、9/2、10/4、11/10、3/6） 福祉部会（8/18、9/2、10/4、11/10） ②備品倉庫、簡易テントの整備 ③広報チラシの作成 ④清掃活動、防災イベントのチラシデザイン等の依頼		
事業の成果	①各部会で活動内容を協議し、活動の円滑な実施に努めた。役員会、理事会の開催により、部会での協議事項を共有し、連携を深めることができた。 ②協議会の運営を進めるなか、様々な備品が増えてきたので備品保管倉庫を中部中学校グラウンド内に設置した。防災イベント等で使用するテントを購入し倉庫へ収納した。 ③発足後4年経過し本協議会の名前・活動内容等を1人でも多くの方に周知いただけるよう広報チラシ等を作成し、地域の全世帯に配布し、協議会について広報することができた。 ④協議会活動に関するチラシなどのデザインを、地域人材の発掘・育成を目的に依頼した。		
評価する点、改善点等	①今後も部会を中心に活動を計画、実施していきたい。 ②倉庫の設置により分散していた備品を一括管理できるようになった。今後は貸借リストなどを作成し管理の上、地域内で有効に活用していきたい。 ③広報チラシでは、活動の写真に簡単なコメントを加えることにより活動内容が分かりやすく伝わり、多くの方への周知に繋がられた。 ④若干名ではあるが依頼できる地域人材が見つかった。地域人材の発掘に関しては協議会関係者に対して更に声掛けなどの周知を行いながら進めていく必要がある。		
連携した団体			
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名：	
		電話：	
		E-mail：	

事業報告書

事業名	環境美化活動	部会名等	地域部
実施時期	令和4年7月1日～令和5年3月31日		
実施内容	<p>①清掃活動（雨天のため中止） 日時：11月13日（日）8：00～9：40 場所：餅ヶ浜海岸南側 内容：海岸のごみ拾いと遊歩道周辺の除草作業 参加者：小学生（保護者同伴）、中学生、地域住民</p> <p>②防犯カメラ設置（境川地区2カ所） ③掲示板設置</p>		
事業の成果	<p>①雨天中止となったが、海岸付近の店舗駐車場を参加者駐車場として使用することができ、企業からの協力が得られた。小・中学生の参加希望者が多く、清掃活動への関心の高さを感じた。</p> <p>②大分県警の地域見守り力向上（防犯カメラ設置）事業補助金交付制度を活用し境川地区（石垣東1丁目（本物のカメラ）、若草町（ダミーカメラ））に各1基設置した</p> <p>③各地区の既設掲示板老朽化に伴い本年度募集を募った中より上野口町2区（2カ所）、天満町1区、荘園北町の3カ所に対し、4基の修繕、建替えを実施した。</p>		
評価する点、改善点等	<p>①海岸付近は定期的に清掃活動が入るため、前日でも予想以上にゴミが少なかった。チラシ作成では、地域の人材育成の一環としてイラストのデザインなど複数の方に依頼し作成した。手作り感のある親しみやすいデザインができた</p> <p>②カメラの設置により子ども達の通学路及び地域の防犯・犯罪抑止に繋がると期待される。</p> <p>③木製からカバーのついたスチール製の掲示板に変更することにより、本体の耐久性・掲示物の汚れなどが改善され掲示期間が延びる事などから、地域住民へのアナウンス効果に対し期待できる。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名：	電話：
		E-mail：	

事業報告書

事業名	防災事業	部会名等	地域部	
実施時期	令和4年9月1日～令和5年3月31日			
実施内容	<p>①体験型防災食イベント 日時：2月25日(土)10:00～12:00 場所：ホテル別府パストラルセミナーハウス 定員：先着70名(参加者42名) 講師：そなえちょこっとプロジェクト代表 明石佳子氏</p> <p>②緑丘地区自主防災会研修会 日時：2月19日(日)10:00～12:00 場所：緑丘小学校体育館</p>			
事業の成果	<p>①防災についての講座(約40分)後、防災食のおにぎり・パン等の試食を実施した。防災食ができるまでの時間を活用しクイズ形式で楽しく防災について学んだ。試食後は水を使用し防災トイレの実演を行い、災害時だけでなく日常生活で活用できることを確認した。参加された方々の笑顔も溢れ、「ちょこっとでも備えちよかん?」のテーマに沿った有意義なイベントとなった。</p> <p>②緑丘地区自主防災会で防災士や地域住民に対し研修会を行い、発電機や無線機等の使用方法を確認した。協議会の会議等の際に地区外からの参加者も募り、防災資機材の扱い方を学習する貴重な機会となった。</p>			
評価する点、改善点等	<p>①今回は「普段から各家庭でちょこっとでも備えておくと便利!」をテーマに開催した。クイズや防災食を実際に試食するなど通常開催している防災訓練とは異なった形式で開催したことにより、大人から子どもまで幅広い年代の参加者に喜んでいただくことができた。小学生の保護者からは、子どもが参加したがるから家族で参加したとの話も聞かれ、今後の開催の参考になった。学校行事の都合もあるので早めに日程等を決めていくことが課題である。</p> <p>②防災資機材等については、今後も地域全体で使用方法等の研修を実施していきたい。</p>			
連携した団体	(団体名称)			
	(所在地)			
	(代表者)			
	(連絡担当者)	氏名：		
		電話：		
		E-mail：		

事業報告書

事業名	あいさつ運動	部会名等	福祉部
実施時期	令和4年6月1日～令和5年3月31日		
実施内容	①あいさつ運動 実施日時：7月20日(水)10月20日(木)、1月20日(金) 場 所：各校正門及び各家庭付近の通学路など ②あいさつ運動チラシ、のぼり旗・横断幕の作成		
事業の成果	①「あいさつ運動」を通じ地域のコミュニケーション活性化に繋がり、豊かな人間関係と住みよい生活環境を築き、子ども同士はもとより、地域の大人が率先して出会った人に声をかける環境づくりへの一助になった。 ②のぼり旗・横断幕は老朽化のためリニューアルした。		
評価する点、改善点等	①最終的にはあいさつだけでなく言葉を交わせる環境になることを目的としている。あいさつを通じて近所に顔見知りが増えることで、横のつながりもでき、地域の雰囲気も明るくなる。そのような環境を作るため本事業を継続実施していく必要性を感じた。より充実した活動となるよう開催方法については今後継続協議を要する。		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名：	
		電話：	
		E-mail：	

事業報告書

事業名	スマホ教室	部会名等	福祉部	
実施時期	令和4年10月1日～令和5年2月28日			
実施内容	<p>①スマホ教室 ※各地区3会場で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月22日(火) 10:00～12:00 緑丘地区／緑丘町公民館 ・12月 8日(木) 10:00～12:00 境川地区／境川小学校 ・2月 9日(木) 14:00～16:00 北地区／野口ふれあい交流センター <p>講師：大分県デジタル活用支援員3名 定員：10名（各会場）</p> <p>②広報チラシ等作成</p>			
事業の成果	<p>①緑丘地区（参加者12名）、境川地区（参加者8名）、北地区（参加者8名）参加者のほとんどが「スマホは持っているが、電話利用のみ」という方が多い中実施した。デジタル支援員の方々の丁寧な説明と参加者同士の助け合いにより、教室終了時には各会場ともに参加者全員がLINEをインストールし、別府市の公式LINEアカウントからゴミ出しの日を確認したり、LINEでの簡単なやり取りや写真との送受信ができるようになっていた。</p>			
評価する点、改善点等	<p>①教室参加者ほぼ全員より「参加してよかった」に加え、次回開催希望の声をいただいた。参加者の中で得意な人も現れ、地域人材育成の場に繋がり、先々独自開催への期待ができる機会となった。教室開始時には、久しぶりに会わせる顔へ互いに健康を気遣うなど嬉しそうな表情も多く見られ、コミュニティの場としての必要性を感じた。</p>			
連携した団体	(団体名称)			
	(所在地)			
	(代表者)			
	(連絡担当者)	氏名：		
		電話：		
		E-mail：		

事業報告書

事業名	多世代交流事業	部会名等	地域部	
実施時期	令和4年7月1日～令和4年11月30日			
実施内容	<p>①中部中ドリームスクール（地域住民との懇談・交流） 日時：11月4日（金）13：40～14：30 場所：中部中学校各教室 対象：中部中学校1年生（145名）</p>			
事業の成果	<p>①中部中学校1年生145名と地域住民23人がグループに別れて地域の歴史や、仕事（職業）、将来の目標等について懇談した。生徒にとっては、家族や知人以外の地域の人から様々な話を聞くことにより地域の良さを改めて認識でき、また、今後の中学校生活やこれから生きていく上でのヒントをもらう機会となった。また、地域としては、中学生の率直な意見や目標を聴くことができ、今後の人材育成や地域活動を進めるうえで貴重な時間となり、互いの交流も深めることができた。</p>			
評価する点、改善点等	<p>中学生と地域住民が交流することにより、地域への愛着や感謝が深まる機会となった。今後も継続して実施し、学校の授業以外でも地域住民と小中学生等が交流できる活動等を実施していきたい。</p>			
連携した団体	(団体名称)			
	(所在地)			
	(代表者)			
	(連絡担当者)	氏名：		
		電話：		
		E-mail：		

事業報告書

事業名	広報・人材育成等	部会名等	
実施時期	令和4年6月1日 ～ 令和5年3月31日		
実施内容	<p>○会議（場所：南部地区公民館） 総会 開催日：5月27日(金) 理事会 開催日：7月31日(土)、9月24日(土)、 2月17日(金)</p> <p>○協議会ロゴマークの作成 協議会周知の際に活用（広報チラシ、のぼり旗、横断幕等）</p> <p>○協議会広報チラシの作成・全戸配布 8月と3月に発行（各3,300部）</p>		
事業の成果	<p>協議会内の連携を図るため、年4回の会議で事業報告や情報共有を行ったことにより、共通理解を得た上で事業を進めていくことができた。</p> <p>さらに、住民へ「協議会について」や「協議会の取組」をお知らせするための広報チラシを全戸配布し、活動の際には協議会ののぼり旗等を設置することにより、少しずつ協議会の認知度が上がっていくと思われる。</p> <p>ロゴマークについては、デザインを専門とされている地域の方の協力を得て作成した。南部の「N」と次世代発の世界言語となっている絵文字を組み合わせ、南部の特徴とテーマを盛り込んだものができた。</p>		
評価する点、改善点等	<p>協議会広報チラシの配布は、広く住民の方に協議会を知っていただくために大変有効なものなので、写真を多用するなど、見てわかりやすい構成などを検討しながら、今後も継続していきたい。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名： 電話： E-mail：	

事業報告書

事業名	まちづくり検討事業	部会名等	
実施時期	令和5年2月9日 ～ 令和5年2月22日		
実施内容	<p>楠銀天街の老朽化したアーケード等の課題解決のため、8月に検討委員会を発足させた。その協議の中で、具体的な取組の一つとして勉強会を開催した。</p> <p>○まちづくり勉強会の開催 日時：2月22日(水) 10時～ 場所：おひさまパーク 多目的ホール 講師：エナジェティックデザイン(株) 代表取締役 小川 洋 氏 参加者：15名</p>		
事業の成果	<p>商店街の再活性化の5事例を講師の小川氏が紹介したのち、意見交換となった。成功事例を挙げての講演は興味深く、参加者からも積極的な質問や意見が出された。商店街の概要に始まり、取り組みの流れ、中心となった組織・関係者など、わかりやすく講演していただいたことは、今後の課題解決に向けた協議の中で参考になった。</p>		
評価する点、改善点等	<p>勉強会を通じて、地域の重要課題であり、かつ市との連携も不可欠であることを再認識した。まだ、自分事として捉えている地域住民が少ないため、喫緊の課題であることを周知しながら参画する住民を募り、今後は、楠銀天街の将来像である「地域と調和し、安全で多様性のあるまちづくり」を目指して、新たな体制づくりに取り組みたいと考えている。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名： 電話： E-mail：	

事業報告書

事業名	スポーツ交流事業	部会名等	地域交流部	
実施時期	令和4年9月24日 ～ 令和5年3月28日			
実施内容	<p>○グラウンドゴルフ大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回 実施日：9月24日(土) 場所：南小学校 参加人数：56名 ・第4回 実施日：3月28日(火) 場所：南小学校 参加人数：52名 			
事業の成果	<p>スポーツを通じた交流事業としては、パークゴルフ大会やミニバレーボール大会を予定していたが、コロナの感染状況により実施できなかった。</p> <p>しかし、グラウンドゴルフ大会については、南・浜脇両地区体協の協力もあり、2回開催することができた。感染予防に注意しながらも、多くの住民が参加して熱戦が繰り広げられ、親睦を深めることができた。</p>			
評価する点、改善点等	<p>スポーツを通じた交流は、高齢者の心身の健康維持にも有効なため、毎年実施していきたい。これまでは高齢者を中心とした大会としていたが、地域内の交流を広げるため、今後は三世代が参加できるグラウンドゴルフ大会も検討する予定である。</p>			
連携した団体	(団体名称)			
	(所在地)			
	(代表者)			
	(連絡担当者)	氏名：	電話：	
		E-mail：		

事業報告書

事業名	福祉事業	部会名等	健康福祉部
実施時期	令和4年6月1日 ～ 令和5年3月31日		
実施内容	<p>○高齢者向けスマホ教室の開催</p> <p>①実施日：10月27日(木) 場所：おひさまパーク 参加人数：11名（自治会長を中心に）</p> <p>②実施日：11月1日(火) 場所：朝見1丁目2区公民館 参加人数：11名</p> <p>○ヨガ教室 実施日：毎月火曜日 場所：おひさまパーク 講師：甲斐ひとみさん 参加人数：平均6名</p>		
事業の成果	<p>スマホ教室は2回しか開催できなかったが、参加者からは日頃の疑問が解消でき、これまで使っていなかった機能を学んだことにより人との新しいつながり方も実感できたとの声が聞かれた。自治会長中心に実施した教室では、早速、LINEグループを作るなど、日頃の連絡手段にも活用できることとなった。</p> <p>ヨガ教室では、地域の方を講師に迎えたことにより、地域内での交流も深めることのできた取組となった。</p>		
評価する点、改善点等	<p>来年度もスマホ教室やヨガ教室は継続していきたい。だが、今年度はいずれも周知方法が不十分だったため、スマホ教室は2回しか開催できず、ヨガ教室も特定の参加者だけとなった。どちらも住民の参加希望がある取り組みと思われるので、募集の方法を検討し、多くの住民が参加できる体制を整えたい。</p> <p>またスマホ教室については、高齢者が参加しやすい場所を会場とし、内容についても基本的なものにすることも必要である。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名： 電話： E-mail：	

事業報告書

事業名	美しいまちづくり事業	部会名等	環境安全部
実施時期	令和4年6月1日 ～ 令和5年3月31日		
実施内容	<p>○朝見川の清掃 実施日：10月9日(日) 参加人数：65名</p> <p>○犬のフン看板の製作 地域からの希望により30枚作成して設置</p> <p>○掲示板の整備 11町に13基整備 (朝見1丁目2区、浜脇2丁目1区、柳、両郡橋、内成、 浜脇2丁目2区、楠町2区、千代町、立田町、浜町1区、 南町)</p>		
事業の成果	<p>朝見川の清掃は今年度で2回目となり、少しずつ参加人数も増えてきた。</p> <p>犬のフンの看板設置は昨年度実施した事業だが、看板設置により徐々にマナーが守られるようになっており、今年度も必要との希望があったため再度作成した。朝見川沿いや南小学校の花壇内では、犬のフンも少なくなってきた、目に見える成果を得られている。</p> <p>老朽化した掲示板の整備は、地域からの強い要望があり実施した事業である。カバーのある掲示板を整備したことにより、剥がされたりすることがなくなり、住民への広報等が確実にできるようになった。</p>		
評価する点、改善点等	<p>朝見川の清掃については、今後も継続して実施していく。</p> <p>掲示板整備についても、今年度整備できなかった箇所があるため、継続して実施する予定である。ただし、予算上、かなりの経費がかかるため、計画的に実施する必要がある。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名：	
		電話：	
		E-mail：	

事業報告書

事業名	防犯防災事業	部会名等	環境安全部
実施時期	令和4年11月1日～令和5年3月4日		
実施内容	<p>○防災訓練 南海トラフ地震を想定した「災害が迫っている時」の緊急避難訓練を実施 日時：令和5年1月15日（日）11時～ 場所：南部全域 ※令和5年3月4日（土）の「別府市インクルーシブ防災事業報告会」において、パネラーの一人として参加し、報告等を行った。 （報告会にはオンラインを含め約230人が参加）</p> <p>○防災備品の整備 ・防災倉庫（南小学校グラウンドに設置） ・テント三方幕</p>		
事業の成果	<p>防災訓練については、25町から車椅子の方も含めて631名の住民が参加し、緊急時に備えた避難訓練が実施できた。 また、市が同日、畑病院と連携して実施したインクルーシブ防災事業に南地区の住民が参加したことにより、大変意義ある訓練となり、住民の防災意識の向上につながった。防災倉庫内にある資機材も、訓練時に住民に確認してもらうことができた。</p>		
評価する点、改善点等	<p>市や福祉フォーラムin別府速見実行委員会との連携により、訓練内容がより充実したものとなったため、今後も、様々な団体と連携して訓練を実施していく。 また、障がい者や高齢者といった要支援者の方に対して、まずは訓練に参加していただけるにはどうしたらよいか検討していき、平時からの顔の見える関係づくりから、誰も取り残さない防災へとつなげていきたい。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名： 電話： E-mail：	

事業報告書

事業名	共同温泉事業	部会名等	温泉部
実施時期	令和4年6月1日 ～ 令和5年3月31日		
実施内容	<p>○温泉部会の開催（場所：おひさまパーク） 7月16日（土） 清掃について（タイル磨き機の整備） 10月1日（土） 入浴料・維持費等について 1月21日（土） レジオネラ菌一斉検査について</p> <p>○レジオネラ菌一斉検査 3月に実施（数値計測不能により2ヶ所再検査）</p>		
事業の成果	<p>共同温泉の浴槽清掃のため、タイル磨き機を1台ずつ整備した。それにより清掃が簡単にできるようになり、有効に使用されている。 共同温泉において、運営資金は大きな課題である。解決の一つとして、これまで個別に実施していたレジオネラ菌検査について、採取方法や回収方法などを検査機関と取り決めて一斉に実施することで経費削減につながられた。また、一斉検査をするにあたって、現状の聴き取りを行ったり、方法について協議するなど、10ヶ所の共同温泉の連携が図られた。</p>		
評価する点、改善点等	<p>これまで現状把握や備品の整備に取り組んできたが、今後は情報共有に努め、今後、取り組むべき課題の抽出と解決方法に向けた協議を進めていく。レジオネラ菌検査については、毎年2月実施を継続していきたい。また、入浴料金の改定や統一化などについては、継続して話し合っていく。 今年度の部会において、観光客へのPRをしていってはどうかと提案があり、現状の課題解決とともに、観光客誘致に向けても取り組んでいく。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名： 電話： E-mail：	

事業報告書

事業名	子ども見守り事業	部会名等	学校部
実施時期	令和4年6月16日 ～ 令和4年9月9日		
実施内容	<p>○学校部会の開催（6月16日、9月28日、3月8日） 事業の実施や通学路の課題について協議</p> <p>○児童のあいさつ標語による看板設置と見守りベスト（70枚）作成 南小学校児童からあいさつの標語を募集し、2点については看板として学校フェンスに設置、ほかの標語は見守りベストの背面に活用した。見守り活動については、週1回実施した。</p>		
事業の成果	<p>学校部は、小学校やPTA、地域のボランティアの方など14名から構成されており、部会において活発な話し合いができた。通学路の課題については、警察署交通課の方にも参加していただくなど、様々な方の意見を聞きながら検討している。</p> <p>取り組みとしては、児童から標語を募集して、その標語を活用して、看板の設置と、見守りベストの作成した。子どもの見守り活動だけでなく、児童と地域をつなげる取り組みにもなった。</p>		
評価する点、改善点等	<p>通学路については、道路網との関連もあるため解決に時間を要する課題であるため、関係団体等の意見もいただきながら継続して協議していく。</p> <p>今後は登下校時の安全見守り活動とともに、スポーツ大会など子どもとの交流を目的とした事業にも積極的に取り組み、地域と子どものふれあいを大切にしていきたい。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名：	
	電話：		
	E-mail：		

事業報告書

事業名	デジタル推進事業	部会名等	防災環境部
実施時期	令和4年10月1日～令和5年3月31日		
実施内容	<p>・高齢者に向けたスマホ教室を開催した。 【実施回数】 9回（町内公民館等:6回・地区公民館:3回） 【参加者数】 82人 【講師】 大分県地域デジタル活用支援員</p>		
事業の成果	<p>基本的な使い方や写真の撮影、ラインの使い方など初心者向けの講座を9回開催した。地区公民館での開催では申込者多数により、参加できない方もいたため、追加で2回、合計3回開催した。 LINEアプリなど便利な機能を学び、家族や友人等とのコミュニケーションの手段や情報を得る手段として活用の幅を広げることができた。 講師の丁寧な指導を通じて、参加者同士が互いに教え合う場面もあり、新たな交流も生まれた。</p>		
評価する点、改善点等	<p>参加者からは継続して開催を希望する声が多く上がった。これまではLINEは受信するのみだった方が自分から発信できるようになったり、スマホを使用する中での疑問が解消できたりと喜びの声が多数聞かれ、スマホへの抵抗感がやわらぎ、満足度の高い講座ができた。 次年度以降も引き続き開催し、住民をサポートしていきたい。また、地域の中でデジタル支援を担う人材も探していきたい。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名： 電話： E-mail：	

事業報告書

事業名	伝統継承・交流事業	部会名等	ふれあい交流部	
実施時期	令和4年8月1日～令和5年3月31日			
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流事業(地区公民館祭と共催により実施) 地域の特産である温泉たまごの販売やキッチンカーの出店、日本の伝統楽器である三味線、琴、太鼓の演奏や体験会を実施し、地域住民の交流を深めた。 【日時】10月29日(土) 【場所】朝日大平山地区公民館 【参加者】502人(来館者総数) ・大平山ふれあい登山 地域住民の健康増進と交流のため実施した。 【日時】1月9日(月) 【場所】大平山周辺 【参加者】120人 ・どんど焼き 地域文化の伝統継承と住民の交流のため実施を予定していたが雨天中止となり、正月飾りを預かり、神事のみ実施した。 【日時】1月14日(土) 【場所】朝日小学校 【参加者】10人 ・三世代ふれあいグラウンドゴルフ大会 幅広い世代の交流を目的として実施した。 【日時】3月12日(日) 【場所】朝日中学校 【参加者】90人 			
事業の成果	<p>今年度メインの行事と位置づけ取り組みを行った。特に地域交流事業は、地区公民館祭と同時開催し、これまで以上の盛り上がりを見せた。今回実施した地域交流事業を三世代交流事業の柱と位置づけ、企画委員会中心に、公民館祭と同時に地域の特徴をいかした交流事業を実施していきたい。</p> <p>大平山ふれあい登山では、市内外からの参加があり、大平山の自然を満喫し、健康増進と交流を深めることができた。</p> <p>協議会として初めて実施したグラウンドゴルフ大会では、5歳から93歳まで幅広い年代の住民が参加し、グラウンドゴルフを通じて楽しく交流することができた。</p>			
評価する点、改善点等	<p>様々な交流事業を通じて、三世代間のふれあいと交流が進み、住民同士の心豊かな連携が深まった。今後も継続して実施し、校区を超えて住民が気軽に交流できる場を作っていきたい。</p>			
連携した団体	(団体名称)	大平山湯の街クラブ(ふれあい登山)		
	(所在地)	別府市竹の内5組		
	(代表者)	廣田 巖		
	(連絡担当者)	氏名：	大平 和弘	
		電話：	23-5363/090-3667-5319	
		E-mail：		

事業報告書

事業名	パトロール事業	部会名等	防災環境部
実施時期	令和4年7月1日～令和5年3月31日		
実施内容	<p>自主パトロールを実施している大平山小学校、PTA、自治会、青少年育成協議会、民生委員等が連携し、登下校時の見守り活動を行った。</p> <p>年末には愛のパトロール事業も実施しているが、令和4年度はコロナ禍のため中止した。</p>		
事業の成果	<p>地域の大人が見守りを行うことで安全安心に登下校をすることができ、将来を担う子どもを地域全体で育てていくという意識を高めることができた。</p>		
評価する点、改善点等	<p>自主パトロールを実施している団体だけではなく、地域全体に子どもの見守り活動を浸透させていきたい。次年度以降は、日程を決めて一斉に実施することなどを計画していきたい。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名：	
		電話：	
		E-mail：	

事業報告書

事業名	環境美化事業	部会名等	防災環境部
実施時期	令和4年11月1日～令和5年3月31日		
実施内容	<p>老朽化した広報掲示板の改修・取替え、新たに設置が必要な場所に新規設置した。</p> <p>【掲示板整備箇所】13箇所（詳細別紙）</p>		
事業の成果	<p>今年度は朝日大平山地区ひと・まち協議会を構成する全17町内に聞き取りを行い、13町内から広報掲示板の新設・改修・取り換え等の要望があり、修繕等の優先度が高いものから実施した。</p> <p>これまで画鋏を使用しポスター等の張替を行ってきたが、マグネット仕様の掲示板になったことにより各町の自治会長や公民館長、広報担当者から喜びの声が上がり、日々の作業の効率が格段に上がった。</p>		
評価する点、改善点等	<p>従来古い掲示板が残っているため、来年度以降も引き続き調査の上、継続事業として計画していきたい。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名：	
		電話：	
		E-mail：	

事業報告書

事業名	防災事業	部会名等	防災環境部
実施時期	令和4年12月1日～令和5年2月28日		
実施内容	<p>・防災士間の横のつながりの構築を目指して、意見交換会とスキルアップ研修を実施した。</p> <p>【実施日】令和5年1月22日（日）</p> <p>【場 所】朝日大平山地区公民館</p> <p>【参加者】27名 防災士16名（うち自治会長5名）・自治会長9名・その他2名（自治会副会長・協議会役員）</p> <p>【講 師】防災危機管理課職員</p> <p>・災害時の町内公民館への一次避難に備えるため、鉄輪東公民館に非常用圧縮毛布を整備した。（14枚）</p>		
事業の成果	<p>朝日大平山地区の登録防災士47名が互いに連携を深め、地域防災について一緒に考え、スキルアップを図る機会として開催し、16名の防災士、自治会長等11名が出席した。各自のこれまでの活動状況や防災士としての悩みなどを直接顔を合わせて話し、共有することができ、貴重な機会となった。防災危機管理課職員を講師に、防災士としての役割や訓練計画の立案等について講義を受け、実際に段ボールベッドと簡易トイレの組立てを行い、スキルアップを図ることができた。</p> <p>鉄輪東公民館に非常用毛布を整備できたことにより、災害時に指定の避難所に避難するまでの一次避難所として機能を充実させることができた。</p>		
評価する点、改善点等	<p>使命感を以て防災士資格を取得した方々であるので、今後も継続して連携強化を図っていきたい。</p> <p>地域全体で防災士のスキルアップを図り、今後は地域住民も一緒になって防災訓練等も実施していきたい。</p> <p>防災士として登録のある47名に意見交換会への出欠の確認を取る中で、資格を取ってから年月が経過し、高齢化や健康状態等により防災士としての活動ができない人がいることが今回判明した。活動が可能な人材を把握することが必要であると感じた。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名：	
		電話：	
		E-mail：	

事業報告書

事業名	人材育成事業	部会名等	—
実施時期	令和4年11月1日～令和5年2月28日		
実施内容	<p>地域課題の解決に向けた取組や組織運営・人材育成について学習するため、先進地である宮崎市大宮地区への視察研修を実施した。</p> <p>実施日：令和5年2月18日（土） 訪問先：宮崎市大宮地域まちづくり推進委員会 参加者：22名</p>		
事業の成果	<p>本協議会を発展・継続していくためにも他県、他地域のまちづくりの先進地を視察・研修する事は意義あることであり、朝日大平山ひと・まち協議会の中心メンバーの大多数の方々が視察に参加し、まちづくりの原点を学ぶことができた。</p> <p>大宮地域まちづくり推進委員会は、10年以上活動しており、組織運営や活動を実施する上での役割分担など直接話を聞くことができ、大変有意義な研修となった。</p>		
評価する点、改善点等	<p>宮崎市大宮地域まちづくり推進委員会の規模は比較にならないかもしれないが、大宮地域が目指す5つのまちづくりの目標である、「1. 元気にあいさつするまち大宮」、「2. ひとの輪でつながる安全なまち大宮」、「3. 地域の歴史や伝統を守り育てるまち大宮」、「4. 子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち大宮」、「5. 豊かな自然と生活環境を守り育てるまち大宮」の5項目を参考に、朝日大平山ひと・まち協議会としても地域としての目標を持ち、活動に取り組んでいきたい。</p>		
連携した団体			
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名： 電話： E-mail：	

事業報告書

事業名	運営事業	部会名等	—
実施時期	令和4年7月1日～令和5年3月31日		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の開催(総会1回・役員会1回・企画委員会2回) ・ポロシャツ・法被・のぼり旗の整備(活動時に使用) ・タブレット等の整備 		
事業の成果	<p>交流事業の実行委員会の立場を担う組織として、若手メンバーで構成する企画委員会を立ち上げ、各種交流事業を円滑に実施することができた。</p> <p>活動時に使用するポロシャツ等を作成し、メンバーの士気を高めるとともに、協議会の認知度の向上を図ることができた。</p> <p>会議や活動時に使用するためタブレット、USB等を整備し、事務処理や活動時の利便性が向上した。</p>		
評価する点、改善点等	<p>朝日大平山地区の将来を担う若手の人材発掘を目標に地区公民館の協力も得て朝日、大平山の2地区から9名の方々を企画委員に任命し、協議会の諸行事に対する企画・立案をはじめ、活動の現場における指導者的な役目を果たすことができた。</p> <p>タブレット等をさらに活用し、協議会の広報活動などにも使用していきたい。</p>		
連携した団体			
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名：	
		電話：	
		E-mail：	

補助金等成果報告書

補助金等名	ひとまもり・まちまもり事業支援補助金		
団体等名	北部ひとまもり・まちまもり協議会		
事業費	2,830,011 円	補助金額	2,830,000 円

事業の内容	<p>(実施した事業内容を記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯防災事業外 5 事業 (別紙事業報告書のとおり)
-------	---

成果目標	<p>(「成果目標設定書」の内容を記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の路面標示の整備や速度制限地区の周知活動を行い、児童生徒の通学路の安全を確保する。また、防災研修会の実施や防災用品の整備を行い、地域住民と防災士の防災意識向上や連携を図り、地域の防災力を高める。 ・ゴミ分別のチラシ等を作成し配布することで、マナーの徹底を図る。 ・掲示板の整備を行い、地域住民に必要な情報を正確・確実に届ける。 ・鬼の岩屋古墳の学習会や周辺清掃を行い、児童と地域住民の交流を図る。太鼓山車の修繕を行い、江戸時代から続く山車を継承していく。 ・農業体験や環境保全活動を通じて子どもに地域の魅力を知ってもらい、地域の活性化と子どもの健全育成を図る。 ・スマホ教室やスポーツ交流のイベントを開催し、地域住民の交流を促進する。健康チラシを作成し、健康福祉について情報共有と健康増進を促す。
------	---

事業効果	<p>(事業実施の結果、どのような成果や効果があったかを記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙事業報告書のとおり
------	---

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	別紙事業報告書のとおり

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。

事業報告書

事業名	防犯防災事業	部会名等	生活安全部
実施時期	令和4年8月1日～令和5年3月31日		
実施内容	<p>○通学路安全事業 路面標示等危険箇所の把握と整備 北部中、亀川小、上人小と協議・調査し、通学路における路面標示の不備や危険箇所を把握。 亀川小1件、上人小3件（計4カ所）の道路文字を改善。</p> <p>○防災事業 ①防災研修会の実施 日時：令和4年11月27日（日） 10時～ 場所：北部地区公民館 参加者：約80名（亀川・上人地区防災士、自主防災会） ②防災用品の整備 ・ガスボンベ式発電機3台 ・コードリール ・LEDライト ・タップ</p>		
事業の成果	<p>○路面標示文字整備については、2年前より継続して実施している事業で、児童・生徒たちの安全な登下校に役立っている。</p> <p>○防災研修会は、亀川地区防災士会の協力を得て実施。防災士や自主防災会の防災意識の向上やネットワークづくりのきっかけとなった。</p> <p>○防災用品については、夜間の災害や避難長期化等で電力不足等のトラブル防止のために大いに役立つ発電機等を整備した。</p>		
評価する点、改善点等	<p>○路面標示文字については、協議会として実施する上での条件を満たすものについて、今後も学校と現地を確認しながら順次、整備していく。</p> <p>○防災対策としては、更に多くの人に参加できるリーダー研修等の充実策を検討していきたい。</p> <p>○防災用品の充実は必要であるが、協議会としての整備の必要性や、保管場所の確保などについても十分検討していく。</p>		
連携した団体	(団体名称) 亀川地区防災士会		
	(所在地) 別府市亀川		
	(代表者) 会長 山川 忠臣		
	(連絡担当者) 氏名： 事務局 森戸 伸子 電話： 090-6476-6383 E-mail：		

事業報告書

事業名	環境整備事業	部会名等	環境美化部 生活安全部	
実施時期	令和4年8月1日～令和5年3月31日			
実施内容	<p>○ゴミの分別マナーの徹底 各町にアンケート調査を実施した上で、ゴミの分別マナーを啓発するポスターやチラシを作成した。学生アパートを中心に150枚を配布。</p> <p>○掲示板の整備事業 新規設置希望は無し。 改修工事は7件の申込みがあるも、予算の関係上、亀川中央町1区、古市町、亀川東町、上平田町、小坂の5地区において各1件整備。</p>			
事業の成果	<p>○従前より当地区は3大学を背景に近隣のアパートに居住している留学生が多く、生活習慣の違いによりゴミの分別マナーが守られないことがあり、住民からの苦情が多かった。そのため、外国語版のポスター・チラシを配布することで、マナーの徹底を図った。若干ではあるが改善しつつある。</p> <p>○老朽化した掲示板の改修により、地域住民に必要な情報の正確かつ早期な伝達が行われるようになった。</p>			
評価する点、改善点等	<p>○留学生のゴミ分別マナーについては、ポスター・チラシで幾分改善してきているが、留学生の入れ替わりもあるので継続的に取り組んでいく必要がある。また、より効果的な啓発方法についても検討していく。</p> <p>○掲示板の新設・改修においては、カバーをつけたものに整備することで、風雨の影響を受けずに情報伝達ができ、住民への広報、環境美化にも寄与している。今後も継続して実施していきたいと考えている。</p>			
連携した団体	(団体名称)			
	(所在地)			
	(代表者)			
	(連絡担当者)	氏名：		
		電話：		
		E-mail：		

事業報告書

事業名	伝統文化継承事業	部会名等	歴史・史跡部 青少年育成部
実施時期	令和4年10月1日～令和5年3月31日		
実施内容	<p>○鬼の岩屋古墳周辺清掃 実施日：10月8日(土) 参加：18名（傷害保険加入）</p> <p>○鬼の岩屋古墳群についての研究発表会 開催日：12月21日(水) 場 所：上人小学校 上人小学校6年生児童による地域住民へ向けた研究発表会。 地域住民約30名が参加。</p> <p>○太鼓山車継承事業 江戸時代から始まった太鼓山車を次世代へ継承していく。4月開催の別府八湯温泉祭りに向けて、太鼓山車を修繕した。</p>		
事業の成果	<p>○鬼の岩屋古墳群の周辺清掃には、多くの住民の参加で効率よく実施できた。</p> <p>○小学6年生による鬼の岩屋古墳の研究発表会では、学習の成果をグループごとに発表した。質問やクイズの形式を採用している班もあり、児童と地域住民の交流を図ることもできた。</p>		
評価する点、改善点等	<p>○グループによる研究発表であるが、この小学校にしか出来ない体験であり、今後も是非継続すべきである。今後は、鬼の岩屋古墳継承事業として、古墳の見学会等も小・中学校と連携しながら、地域ぐるみの取組に発展させたい。なお、清掃作業については、周期的に作業日程を決めて実施していく。</p> <p>○太鼓山車については、温泉まつりで練り歩くコースの検討や住民への周知方法など、北部全体でどのような方法で継承していくのがよいか十分協議していきたい。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名：	電話：
		E-mail：	

事業報告書

事業名	地域交流事業	部会名等	青少年育成部
実施時期	令和4年10月1日～令和5年3月31日		
実施内容	<p>○環境保全活動 亀川の自然環境を守る会を中心に、環境保全を通して、圏域内の住民・児童の交流を図ることを目的として実施した。</p> <p>①ホテル観賞会に向けた冷川の清掃活動 チラシを作成し、住民の協力を呼びかけた。清掃活動は1月～3月の第2日曜日に実施し、1回に約40名の住民が参加した。（4・5月も実施予定）</p> <p>②学校や公民館に水槽を設置して、ホテルの餌となるカワニナ育成の取組を始めた。今年度は3ヶ所に水槽を設置。</p> <p>○新川～大学通りの20キロ速度制限の周知活動 ①測度制限標識板を作成、路線該当地区にて実施 ②10月29日を初回、11月に4回、12月以降は月1回ずつ実施 ③ながら見守り運動のPR ④町内掲示板用ポスターと回覧用チラシを作成広報</p>		
事業の成果	<p>○冷川の清掃活動は、チラシを作成して参加を呼びかけたため、通常より多くの住民の協力が得られ、作業することができた。カワニナ育成の水槽は、各小中学校で設置できた。</p> <p>○速度制限の周知をよびかける標識板をもって活動することで、速度を守る車も増えてきた。</p>		
評価する点、改善点等	<p>○冷川での清掃活動は、地域内に環境保全の大切さを広める第1歩になり、参加者のコミュニケーションの場にもなった。今後、この活動をさらに広めるため、周知方法について検討していきたい。カワニナ育成については、水槽を設置するにとどまったため、今後は、ホテルの生態やカワニナを育成する意義について、児童・学生への出前授業や意見交換する機会を作り、活動を拡充していく。</p> <p>○20キロ速度制限の周知については実施は出来たが、他の交通安全運動や登校指導の活動もある中、活動する人の負担を軽減するためにも、実施方法を見直す必要がある。また、ながら見守りについても、成果が見える方法について協議していく。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名：	
		電話：	
		E-mail：	

事業報告書

事業名	健康福祉事業	部会名等	健康福祉部
実施時期	令和4年11月1日～令和5年3月31日		
実施内容	<p>○スマホ教室の実施 実施日：11月17日、12月6日・15日、1月10日・24日、2月7日 (計6回) 場 所：北部地区公民館 参加者数：約80名</p> <p>○健康チラシの作成配布 令和5年1月初号発行・回覧</p> <p>○スポーツ交流 亀川・上人地区体協と実施 (亀川体協) ウォークラリー：11月13日 参加者81名 (上人体協) 歩こう会：12月11日 参加者73名</p>		
事業の成果	<p>○スマホ教室では、繰り返し参加を希望する住民もいるなど、住民のスマホ活用への意欲が感じられ、不安や疑問の解消につながった。</p> <p>○健康チラシについては、初めての発行であったが、地域包括支援センターや市と協力して作成することができた。</p> <p>○スポーツ交流は、それぞれ地区体協が実施していた事業を北部全体で実施することで、スポーツを通じた交流のきっかけづくりとなった。</p>		
評価する点、改善点等	<p>○スマホ教室は好評であり参加希望も多かったため、教室に参加できない住民もいた。今後は多くの人に参加できるよう、申込方法や内容、開催場所について見直す必要がある。各町の公民館での実施や地域の指導者の募集など実施したいと考えている。</p> <p>○健康チラシは、高齢化社会においては重要な役割を持つので年に数回発行していく予定である。地域包括支援センターや市と協働して、高齢者の目に留まり効果あるチラシになるよう、作成費用も考慮しながら工夫していきたい。</p> <p>○スポーツ交流は両地区で開催は出来たものの、周知不足から参加者の増加が見られなかったため、今後は更なるPRをしていく予定である。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名： 電話： E-mail：	

事業報告書

事業名	拠点整備事業	部会名等	
実施時期	令和4年10月1日～令和5年3月31日		
実施内容	<p>○10月～12月 事務所開設に向けて市と協議 現地確認（別府競輪場内）</p> <p>○令和5年1月 施設の使用許可について協議</p> <p>○令和5年2月 施設の使用に関する協議 必要備品等の確認と発注 施設内清掃（業者に委託）</p> <p>○令和5年3月 物品搬入 施設使用に係る覚書等の準備 開所式（4/5）準備</p>		
事業の成果	<p>北部圏域の中心にある競輪場内において、協議会事務所を開所できることとなった。書類や備品などの保管や会議など情報共有の場として活用していく。</p>		
評価する点、改善点等	<p>会議などの実施のみならず、活動の場としても利用できる。競輪場での事務所開設は全国的にも例をみないものであり、今後は競輪場と連携した事業も検討していきたい。また来年度は、事務所を中心として、多様な手段による情報発信を積極的に行っていく。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名： 電話： E-mail：	

事業報告書

事業名	事務局運営	部会名等	
実施時期	令和 4 年 7 月 27 日～令和 5 年 3 月 31 日		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定例会議の実施 ・ 事務局員 1 名の配置：会議書類作成や申請準備、広報チラシの校正などの業務を担ってもらった。 ・ 協議会の周知のため広報チラシを作成し 3 月に全戸配布した。 ・ 活動のためジャンパー作成した。 		
事業の成果	<p>コロナ感染防止の観点から主に役員、部長と個別調整を行ったが協議会としての方向性を共有することができるとともに協議会の必要性を再認識できた。また、事務局員の配置により書類関係の作成がスムーズに行えた。</p> <p>チラシを全戸に配布することにより、協議会の活動をより多くの方々に知っていただくことが出来た。</p>		
評価する点、改善点等	<p>協議会の必要性や事業を見直すことで、関わっていただける方が増えた。また、広報チラシは多くの住民に知っていただくために効果的であり、活動の周知のため継続して作成したい。ただ、事業の計画・実施等で特定の人に負担がかかるので、部会編成や協議会の目的を話し合う場を早急に設ける必要がある。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者) 氏名： 電話： E-mail：		

事業報告書

事業名	デジタル推進事業	部会名等	地域づくり部
実施時期	令和4年9月30日～令和5年2月28日		
実施内容	<p>大分県地域デジタル活用支援員を講師に招き高齢者向けのスマホ教室を開催</p> <p>期間 11月8日～2月28日 計8回実施</p> <p>会場 町内公民館（城島、鶴見、堀田、荘園） 計5回 西部地区公民館 計3回</p> <p>チラシを事務局で作成し回覧や掲示板で周知し、事務局の鶴見町公民館と西部地区公民館で電話による受付制にした。</p>		
事業の成果	<p>高齢者はスマホを持っているがうまく扱えないなどの意見が多く、若者との情報格差があるためスマホ教室を8回開催して延べ78名が参加した。受講者からは「ガラケーからスマホに買い替えて不安だったがこれから積極的に使用したい」、「安心して使えそう」、「友人や家族と連絡を取り合ったりラインで写真送信が出来るようになった」という感想をいただいた。</p>		
評価する点、改善点等	<p>多くの受講者が基本的操作を覚え、遠くにいる家族や友人と気軽に連絡が取れるようになった。またスマホ教室に参加することにより、知らない方とコミュニケーションが取れ顔見知りになった。</p> <p>事務所がないため、受付が煩雑化しているように思えた。また、希望者が特定されるため周知方法を検討したい。教室開催のときに役員が挨拶に行く必要があるため誰もがこの教室の意義を説明できるように調整したい。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者) 氏名： 電話： E-mail：		

事業報告書

事業名	防災事業	部会名等	生活安全部
実施時期	令和5年1月11日～令和5年2月16日		
実施内容	<p>各町の防災士による意見交換会を実施した。</p> <p>日時：令和5年1月26日(木)</p> <p>場所：鶴見町公民館</p> <p>対象：協議会役員・防災士</p> <p>意見交換会后、防災士の名札を整備した。</p>		
事業の成果	<p>協議会役員、地域の防災士の意見交換会を実施し33名が出席した。全員の自己紹介と地域の活動を発表することで防災意識の向上と防災士の必要性の理解が進んだ。</p> <p>また、協議会で実施することで更なる防災士のスキルアップを目指すため研修実施の意欲や横のつながりを形成することができ、今後の取組に繋がる意見交換会となった。</p>		
評価する点、改善点等	<p>意見交換会をきっかけに、協議会圏域での顔の見える関係を築くことができた。また、地域の状態を把握することができた。</p> <p>ただ、あまりにも要望等が多岐に渡るため取りまとめて、防災士として必要なニーズをみんなで共有できる取組みを計画したい。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者) 氏名： 電話： E-mail：		

事業報告書

事業名	農業体験事業	部会名等	地域づくり部 青少年育成部
実施時期	令和4年7月27日～令和4年12月6日		
実施内容	<p>児童と地域住民の交流を図る農業体験</p> <p>日時：準備 11月に向けて種植え・整備開始 学習 鶴見小、南立石小で準備過程を授業で紹介 本番 11月15日 芋ほり・椎茸狩り（東山） 給食 各小学校で提供（関係者も試食会有） お礼 12月 7日 南立石小（感謝の集い） 12月16日 鶴見小（感謝の会）</p> <p>対象：鶴見小学校・南立石小学校・東山小学校の1年生</p>		
事業の成果	<p>コロナ禍で様々な体験を諦める事を強いられている子どもたちに地域の魅力を発信できる体験を実施しようと昨年東山での農業体験を実施している。当日は児童や地元住民含め170名が参加した。当日は子どもたちのはじけるような明るい笑顔が見られ、私たちも元気をもらえる交流となった。地元農家の方の大変さや、苦勞して作物を作ることを学習し、食べ物の大切さを学んだ。事業実施後、児童による感謝の会で更なる交流ができた。</p>		
評価する点、改善点等	<p>地元住民と各学校の児童と交流が出来た。また、子どもたちに地元の作物ができる過程や食の魅力伝えることが出来た。</p> <p>ただ、バス借用の代金が高いため、学校と負担金等を検討したい。また、準備の作業負担が大きいため今後は様々な団体に協力を依頼したい。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者) 氏名： 電話： E-mail：		

事業報告書

事業名	人材育成事業	部会名等	青少年育成部
実施時期	令和 4 年 1 2 月 1 2 日～令和 5 年 3 月 2 5 日		
実施内容	<p>先進地研修や市内協議会の方を講師に招く研修を予定したが新型コロナの状況もあり今年度は実施に繋がらなかった。だが、来年度の研修に向けてプロジェクターを地区公民館に整備した。</p> <p>また、新たな人財の募集・発掘に向けて協議会広報チラシに住民参加を促す内容を盛り込んだ。</p>		
事業の成果	<p>研修に向けて話し合いをすることで他の団体事例を知る機会ができた。また、プロジェクターを整備することにより、来年度の人財育成研修に向けた環境整備が整った。</p> <p>チラシを全世帯に配布して周知を図ることにより、協議会をより多くの方に知っていただくことが出来た。</p>		
評価する点、改善点 等	<p>他の団体事例を知ることで今後の協議会活動の視野を広げることができた。チラシを作成することで多くの方に協議会を知ってもらい興味を持ってもらえた。</p> <p>だが、研修の計画時期が遅れたため今後は早めに計画を立てて実行したい。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者) 氏名： 電話： E-mail：		

事業報告書

事業名	健康推進事業	部会名等	健康福祉部
実施時期	令和4年7月27日～令和5年1月18日		
実施内容	<p>高齢者や子どものための休憩所作り 設置内容：ベンチ、旗、（必要に応じて）タペストリー 設置場所：青山・東山地域包括支援センター、薬局、福祉施設等に設置した。（鶴見に3か所、荘園に7か所、扇山、南立石、城島、堀田、山の口、山の手町にそれぞれ1か所）</p>		
事業の成果	<p>環境整備を行うため関係施設等に包括と一緒に行動し依頼をすることで地域福祉に貢献したい団体と連携できた。 また、整備により高齢者の活動の一助になり、高齢者同士、知らない人同士などの休憩所での会話が増し、買い物や共同温泉に行く回数等が増えた。</p>		
評価する点、改善点等	<p>高齢者に対する心配りが近隣の方に評価され、協力者が増えた。 ただ、維持管理のために月に2回くらいの見回りや整備が必要であり団体の協力や人材の確保が必要になった。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者) 氏名： 電話： E-mail：		

事業報告書

事業名	事務局備品の整備	部会名等	
実施期間	令和4年9月10日 ～ 令和5年3月30日		
実施内容	<p>本協議会が発足して僅か2ケ年であるが、次第に事務量も増え、保存文書等もあることから、パソコン、タブレットを整備した。</p> <p>また、講演会等を開催した場合、映像やそれを映し出す機器が整備されておらず、次年度に計画している講演会等に使用できるよう先行整備することとした。</p>		
事業の成果	<p>本協議会の構成団体等が同様の講演会や勉強会を行う場合、有効に活用できることとなった。</p>		
評価する点、改善点等	<p>これからの事業、記録等はパソコン、タブレットで行うことができるようになった。一方、プロジェクター、スクリーンは本協議会で使用するほか、構成団体にも貸し出すことができるが、貸し出しに際しては「貸出簿」を整備し、貸し出し時、返納時のチェックを厳重に行う必要がある。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者) 氏名：		
	電話：		
	E-mail		

事業報告書

事業名	防災対策事業	部会名等	安心安全・防災部会
実施期間	令和4年9月10日 ～ 令和5年2月22日		
実施内容	<p>災害発生時の対応策として、発電機、ライト、備蓄食料を町内公民館等に配置</p> <p>発電機、ライト：石垣東6・7丁目公民館、中須賀元・本町公民館</p> <p>備蓄食料：春木川地区6町に各10セット</p>		
事業の成果	<p>今後30年以内に発生するであろう「南海トラフ地震」に備えて、協議会内にある自主防災会の拠点である公民館等に災害発生時や避難所生活での運営に必要とされる防災備品を配置することにより地域における防災意識の高揚並びに災害発生時の対応の準備ができた。</p>		
評価する点、改善点等	<p>今年度は、コロナ禍ということもあり防災備品の整備にとどめたが、コロナも収束傾向にあることから、次年度からは備品の購入に限らず、整備した防災資機材を使用・活用した訓練等を行い、地域住民が安心して営める地域づくりを目指したいと考えている。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者) 氏名：		
	電話：		
	E-mail		

事業報告書

事業名	デジタル推進事業	部会名等	いきいき・いきがい成長部会
実施期間	令和4年10月6日 ～ 令和5年2月17日		
実施内容	<p>大分県地域デジタル活用支援員を講師に招き、高齢者向けスマホ教室を開催。</p> <p>期間：10月6日～2月17日の計5回実施</p> <p>会場：町内公民館（石垣東6丁目、春木川ふれあい交流センター）計4回 中部地区公民館 計1回</p> <p>チラシを作成し、回覧や掲示板で周知し、部長を窓口として電話による受付制にした。</p>		
事業の成果	<p>高齢者を対象としたスマホ教室を5回開催して延べ53名が参加した。受講希望者が多く、想定以上の予約があった。アンケートを行ったところ、「使用できる機能をもっと学びたい」などの多くの意見が寄せられた。</p>		
評価する点、改善点等	<p>時代の流れに沿って高齢者は最新の機器を使用しているが、機器を使いこなせず悩んでいることが課題であった。本事業の開催をきっかけに「コミュニケーションの幅が広がった」「これまでの疑問が解消した」などの声が聞かれ、使いこなせる方が増えたことを実感できた。だが、すぐに相談できる体制も形成する必要があるため、地域住民である近隣の大学生やPTAに講師をお願いするなど実施方法を検討する必要がある。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者)	氏名：	
		電話：	
		E-mail	

事業報告書

事業名	地域の歴史継承事業	部会名等	地域部会
実施期間	令和4年8月1日 ～ 令和5年3月1日		
実施内容	<p>子どもたちに向けた地域の身近な歴史講座の実施を計画していたが、コロナ禍であることや会場の調整ができずに未実施となった。だが、次年度に向けて講座等に活用するプロジェクターやスクリーンを中部地区公民館に整備した。</p>		
事業の成果	<p>協議会の構成団体が地域の魅力発信や活動の幅を広げるための講演会や勉強会を行う場合、有効に活用できるハード面の準備が整った。</p>		
評価する点、改善点等	<p>講座等を開催するために何が必要かの計画を検討することができた。また、歴史講座等の実施に向けた準備のためノウハウを持った他の団体と実施方法を検討したい。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者) 氏名：		
	電話：		
	E-mail：		

事業報告書

事業名	地域の見守り・広報事業	部会名等	地域部会
実施期間	令和4年9月1日～令和5年3月1日		
実施内容	<p>住民に必要な情報を確実に周知するため、強風や降雨の対策を講じた 掲示板を整備 期間：9月1日～令和5年2月22日 場所：石垣地区 4ヶ所、春木川地区4ヶ所 計8ヶ所</p>		
事業の成果	<p>整備を実施した掲示板は、風雨に心配することなく住民への掲示物や お知らせ等の周知を行うことができた。</p>		
評価する点、 改善点等	<p>掲示物の劣化等がなくなり、長期間の周知時間を保つことで、住民へ の周知ができるようになった。だが、1基あたりの整備に要する経費が 高額なため、継続的な事業推進を行うためにも整備方法について検討し たい。</p>		
連携した団体	(団体名称)		
	(所在地)		
	(代表者)		
	(連絡担当者) 氏名：		
	電話：		
	E-mail		

事業報告書

事業名	地域美化事業	部会名等	美しいまちづくり部会
実施期間	令和4年8月7日		
実施内容	<p>河川敷や公園、海岸等の清掃活動を実施するためにガソリン式もしくは充電式の草刈機のどちらが活用しやすいかのデモを実施。</p> <p>日時：令和4年8月7日（日）</p> <p>場所：春木川河川敷</p> <p>実演：株式会社カナック</p> <p>参加者：自治会長、地域住民</p>		
事業の成果	<p>河川敷で自治会長や地域住民およそ20名が参加したデモンストラーションでは、従来使用している草刈機との利便性を確認することができ作業効率を検討することができた。</p>		
評価する点、改善点等	<p>従来のガソリン式に比べ、軽量であるが出力が弱く、稼働時間も短いこともあり、使用者とともに検討する必要がある。また、整備とともに活動に参加する人をどう増やすかも含め検討をしたい。</p>		
連携した団体	(団体名称)	株式会社カナック別府店	
	(所在地)	別府市石垣西10丁目4-61	
	(代表者)	村岡 定昇	
	(連絡担当者)	氏名：村岡 定昇	
		電話：0977-25-2448	
		E-mail	

補助金等成果報告書

補助金等名	市民活動支援補助金		
団体等名	NPO 法人 鉄輪湯けむり倶楽部		
事業費	1,497,835 円	補助金額	600,000 円

事業の内容	<p>・別紙 活動報告書のとおり</p>
-------	----------------------

成果目標	<p>鉄輪らしい湯治場風景を長く保存するため、「鉄輪俳句」の俳画をアーカイブ化し、それを拡大パネルにして渋の湯、上人湯、すじ湯、谷の湯等の地元共同浴場やポケットパークに掲示することにより、地元住民、観光客、湯治客が「鉄輪は、何かほっとする」風景を創り出す。</p>
------	--

事業効果	<p>・別紙 活動報告書のとおり</p>
------	----------------------

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p>
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p>
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	<p>特になし</p>

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。

活動報告書

1 団体名 NPO 法人 鉄輪湯けむり倶楽部
2 活動内容 鉄輪らしい湯治場風景を永く保存するため、「鉄輪俳句」の俳画をアーカイブ化し、それを拡大パネルにして渋の湯、上人湯、すじ湯、谷の湯等の地元共同浴場やポケットパークに掲示することにより、地元住民、観光客、湯治客が「鉄輪は、何かほっとする」風景を創り出す。
3 活動期間 令和4年9月23日から令和4年11月10日まで
4 活動実施内容 <ul style="list-style-type: none">・「鉄輪ごよみ」のデジタル化 → 7月11日発注・パネル展示場所調査 → 7月19日～7月22日・パネル製作杭数の決定 → 7月24日・パネル製作開始 → 7月25日・パネル完成 → 9月11日・パネル取付 → 9月20日～22日・開会セレモニー → 9月23日・展示終了 → 10月23日 ※高評価を得ているので、正月明けまで展示することが決定した。
5 活動の成果 <p>地元住民や観光客より「鉄輪の風景にマッチしている」、「より湯治場らしい風景になった」、「1ヶ月で取り外すのはもったいない」等の高評価を得た。</p> <p>俳句を投稿した方々や俳画に描かれている施設からも「パネルが欲しい」との声や、平成15年以降の入賞者からは「最終の今年度まで大変でしょうが続けてほしい」との要望もあった。</p> <p>以上のことから、活動目的である「鉄輪は何かほっとする」風景の創造、俳画のデジタル、パネル化による地元文化財の保存は達せられたと考える。</p>
6 反省点や今後の目標 <p>平成15年度から令和4年度まで20年間分が残っているので、今後の予算を含めた体制の強化が必要となるが、ぜひ続けていきたいと思っている。</p>

補助金等成果報告書

補助金等名	市民活動支援補助金		
団体等名	NPO法人 大分県ノルディック・ウォーク連盟		
事業費	326,300 円	補助金額	309,000 円

事業の内容	・別紙 活動報告書のとおり
-------	---------------

成果目標	<p>ノルディックポールを使った健康づくりを通して、地域に密着したウォーキングコースの 策定と防災ルートを考えます。ノルディック・ウォークを行いながら、別府の見どころを再発見し、また、避難場所を巡り防災ルートを確認します。話し合いにより改めてウォーキングコースや防災ルートを作成することにより、ウォーキング習慣を定着させ、介護予防及び非常時の防災・減災につながる活動を目指します。</p>
------	--

事業効果	・別紙 活動報告書のとおり
------	---------------

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	<input checked="" type="radio"/> 1 できた 2 概ねできた <input type="radio"/> 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	<input checked="" type="radio"/> 1 できた 2 概ねできた <input type="radio"/> 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	比較的高齢者の参加が多く、3キロ歩くのも厳しい方がいたので、そのような方向けの短いコースも用意すべきだったと思いました

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。

活 動 報 告 書

1 団体名 NPO法人 大分県ノルディック・ウォーク連盟
2 活動内容 ノルディックポールを使った健康づくりを通して、地域に密着したウォーキングコースの策定と防災ルートを考えます。ノルディック・ウォークを行いながら、別府の見どころを再発見し、また、避難場所を巡り防災ルートを確認します。話し合いにより改めてウォーキングコースや防災ルートを作成することにより、ウォーキング習慣を定着させ、介護予防及び非常時の防災・減災につながる活動を目指します。
3 活動期間 2022年11月17日から 2023年3月20日まで
4 活動実施内容 【合計】4会場・16回実施・参加者延べ人数 137名 ・別府市南部地区おひさまパーク 2022年11月17日～12月15日（4回・参加者数39名） ・別府市北部地区公民館 2022年11月19日～12月10日（4回・参加者数23名） ・別府市南立石公園 2023年2月11日～3月4日（4回・参加者数45名） ・別府市野口ふれあい交流センター 2023年2月2日～3月9日（4回・参加者数30名） 【各回の実施内容】 ・1回目：事業説明とノルディックウォークの練習（2キロ程度歩行） ・2回目：観光（お散歩）ルートの下見ウォーク・避難場所等の確認（3キロ程度歩行） ・3回目：ウォーキングコース作成の話し合い（見どころ、避難場所、危険箇所など） ・4回目：皆で作成（検討）したコースでノルディックウォーキング（3～4キロ程度）
5 活動の成果 自分の住んでいない地域（隣町）も歩くことができれば色々な発見があることがわかり、別府の様々な魅力を発見しました。風景など昔の記憶と現状を比べながら歩くことで脳への刺激にもなったようです。また、歩くのは健康に良いと分かっているけど独りでいつものコースを歩くだけでは続かないのも、皆で歩くとあっという間に2～3キロ歩けることも分かりました。小さなことですが、公園の整備具合や公共トイレの現状を確認でき、歩道の段差の大きさも良く分かりました。実際に避難ルートや危険箇所などを歩いて、いざという時にどこに避難するのか、歩く際にどのような場所が危険かなどを確認することができました。ルート作成の話し合いでは、各家庭で備蓄しているものなどについても意見を出し、良い点は真似し、不備な点なども再認識できました。
6 反省点や今後の目標 参加者の皆さんでそれぞれの地域の観光、防災ルート作りをするのが目標でしたが、積極的な作成というよりは、主催者側が提案したルートに感想や意見を述べる程度にとどまってしまうました。また、比較的高齢者の参加が多く、3キロ歩くのも厳しい方がいたので、そのような方向けの短いコースも用意すべきだったと思いました。別府市は鶴見岳の噴火という災害も予想され、別府市防災マップに目を通していただいている方が多かったのですが、実際に避難場所まで歩いてみた方は少なく、今後はポールを使って避難する、避難できるという意識をさらに高めていきたいと思えます。

補助金等成果報告書

補助金等名	市民活動支援補助金		
団体等名	NPO法人 別府八湯温泉道名人会		
事業費	616,964 円	補助金額	600,000 円

事業の内容	<p>・別紙 活動報告書のとおり</p>
-------	----------------------

成果目標	<p>別府の温泉や別府八湯温泉道をはじめ、温泉に関わるちょっと面白くてためになるお話を名人会会員並びに一般参加者へ聞いていただくことにより、別府の温泉や温泉の様々な魅力、健康・福祉・温泉の巡り方等ためになることを学び、別府温泉の価値の再認識や地元愛の醸成、別府への再訪意欲を高め、移住のきっかけになることを目的とする。また、このような学びの場を会員及び広く一般に向けて企画・実施することで温泉文化を継承できる人材育成を行い、温泉文化を継承できる人材として学ぶことにより、組織全体の強化を図る。</p>
------	--

事業効果	<p>・別紙 活動報告書のとおり</p>
------	----------------------

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p>
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p>
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	<p>特になし</p>

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。

活 動 報 告 書

1 団体名 NPO法人 別府八湯温泉道名人会
2 活動内容 別府の温泉や別府八湯温泉道をはじめ、温泉に関わるちょっと面白くてためになるお話を名人会会員並びに一般参加者へ聞いていただくことにより、別府の温泉や温泉の様々な魅力、健康・福祉・温泉の巡り方等ためになることを学び、別府温泉の価値の再認識や地元愛の醸成、別府への再訪意欲を高め、移住のきっかけになることを目的とする。また、このような学びの場を会員及び広く一般に向けて企画・実施することで温泉文化を継承できる人材育成を行い、温泉文化を継承できる人材として学ぶことにより、組織全体の強化を図る。
3 活動期間 令和4年7月10日から令和5年3月31日まで
4 活動実施内容 湧く湧くトークイベント開催(合計2回) ○第1回イベント(vol.1) 【日時】令和4年9月17日(土)13:00～15:45 【場所】:亀の井ホテル 2回由布の間 【参加者数】70名(うち別府市民30名) 【準備期間】約3ヶ月 【内容】秘湯探検家 渡辺裕美氏講演「非日常的温泉のススメ」、渡辺氏と漢温泉道塾長せんべえ対談&写真タイム、温泉道名人 石井靖文トーク「別府にユーがやってきた!意外とガチなロケの裏側」 ○第2回イベント(vol.2) 【日時】令和5年3月11日(土)13:00～15:45 【場所】:亀の井ホテル 2回由布の間 【参加者数】83名(うち別府市民43名) 【準備期間】約3ヶ月 【内容】映画ライター 森田真帆氏講演「温泉とエンターテインメント」、銭湯紀行家 松本康治氏講演「温泉と銭湯、そして別府の共同湯～未来へ残すために～」、名人会会員鼎談「別府八湯温泉道攻略ゼミナール」
5 活動の成果 開催にあたり参加者の半数以上を市民とすることを目標に集客したが、第1回は42.8%、第2回は51.8%であり、回数を重ねる中で講演内容等を検討することにより、市内からの参加者を増やすことができた。活動の目的である温泉の価値の再認識や地元愛の醸成の部分では、講師の温泉にまつわる様々な話を通して、概ね目的を達成できたように思う。参加者からのアンケートでも、実際別府に住んでいる環境が実はとてもありがたいことだと気づいて、温泉巡りもやってみたいという感想を多数いただくことができ、市民の方が今まで以上に温泉の魅力に触れ、また、温泉への興味を持つ機会を提供できたと思う。
6 反省点や今後の目標 第1回トークイベントの講師の渡辺氏の話がマニアックすぎて別府温泉とどのように直結するのかが話が少なすぎ、当初の目的である別府温泉の魅力や価値の部分をお伝えできなかったことが反省点である。一方、第2回トークイベントでは修正し、特に松本氏の講演での、銭湯での清掃活動を通して温泉・銭湯文化を守っていく話は参加者の反応がとても良かった。今後も来ていただく市民の皆様に喜んでいただき、別府八湯についての知識を深め、温泉を文化を大切に守っていく一助となるようなイベントを開催したいと思う。

補助金等成果報告書

補助金等名	市民活動支援補助金		
団体等名	みんなの教室		
事業費	623,410 円	補助金額	98,000 円

事業の内容	・別紙 活動報告書のとおり
-------	---------------

成果目標	小学生以上高校生以下の多様な子どもたち一人ひとりに寄り添い、子どもたちが主体的に学び成長する居場所を提供する。また、社会において全ての子どもが認められ、夢をもって生きることのできるオルタナティブな教育のあり方について一般の理解を得るための活動を行う。
------	---

事業効果	・別紙 活動報告書のとおり
------	---------------

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	<input checked="" type="radio"/> 1 できた 2 概ねできた <input type="radio"/> 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	<input checked="" type="radio"/> 1 できた 2 概ねできた <input type="radio"/> 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	まだまだ別府市には子どもの居場所や不登校の子どもたちの選択肢が少ない。これからも、子どもを主語にした居場所づくりや体験活動、イベントをしていきたい。

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。

補助金等成果報告書

補助金等名	市民活動支援補助金		
団体等名	別府溝部学園短期大学 人形劇部 劇団ぱれっと		
事業費	101,585 円	補助金額	100,000 円

事業の内容	・別紙 活動報告書のとおり
-------	---------------

成果目標	子どもを中心に高齢者の方や障がいのある方などに対して人形劇を行うことにより、幼児・児童に「夢や希望」を届け、世代を問わず様々な人々に「感動」を感じてもらい「笑顔」になってもらうため自分たちの手で一から人形や物語を制作し、人形劇を通して出逢ったすべての方々に「最幸の笑顔」を届けるために活動をする。
------	--

事業効果	・別紙 活動報告書のとおり
------	---------------

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	特になし

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。

活 動 報 告 書

1 団体名 別府溝部学園短期大学 人形劇部 劇団ぱれっと
2 活動内容 子どもを中心に高齢者の方や障がいのある方などに対して人形劇を行うことにより、幼児・児童に「夢や希望」を届け、世代を問わず様々な人々に「感動」を感じてもらい「笑顔」になってもらうため自分たちの手で一から人形や物語を制作し、人形劇を通して出逢ったすべての方々に「最幸の笑顔」を届けるために活動をする。
3 活動期間 2022年 7月 5日から 2023年 3月 31日まで
4 活動実施内容 令和4年7月6日 羊毛人形作製 令和4年7月7日 野口ふれあい子どもカフェ（子ども食堂）公演 令和4年7月22日 朝見1丁目敬老会「三寿会」公演（別府市社会福祉協議会ボランティアセンターより依頼） 令和4年11月6日 別府市市民・学生大同窓会 公演 令和4年11月13日 付属園 ひめやま幼稚園 公演 令和5年1月28日 光の園児童館公演 令和5年2月10日 ファイナル公演（付属園や学校関係者及び地域の方々を招待） ※羊毛人形作成及びファイナル公演は学内施設での実施
5 活動の成果 今年度4月より新体制で活動を開始した団体ではあるが別府市を問わず大分県内各幼児教育保育施設及び高齢者施設、各種イベントよりご依頼をいただきコロナ過でありながらも活動をする事ができた。別府市内では上記の場所で公演を行い、人形劇を通して出逢ったすべての方々が「笑顔」になり、「感動」を感じ、「最幸な時間」を過ごしていただくことができた。また、本団体の団員それぞれの自己成長にもつながったと考える。
6 反省点や今後の目標 多くの方々から公演のご依頼を戴いたにもかかわらず、新型コロナウイルス感染症の感染状況や学校行事等との関連により公演のご依頼をお断りすることになってしまったことは大変心残りである。また、学内でのサークル活動ということで学校行事や実習等に大きく影響を受け活動をあまり実施することができなかつた点も反省点である。 今後の目標としてはサークル内に新たなメンバーを迎え入れることと今後とも人形劇を通して出逢ったすべての方々に「最幸の笑顔」と「最幸な時」を提供し団員自らの成長にもつなげていきたいと考える。

補助金等成果報告書

補助金等名	市民活動支援補助金		
団体等名	灯		
事業費	217,237 円	補助金額	100,000 円

事業の内容	・別紙 活動報告書のとおり
-------	---------------

成果目標	子供たちのニーズを把握し、子供たちの第三の居場所づくりを行う。なるべく自由に過ごせる環境づくり、子ども達がまた期待と思える温かい場所づくりを行いたい。10年20年先、子どもたちが大人になった時の記憶の中で支えになれる、あくまで第三の居場所をいう立ち位置での活動を行っていききたい。
------	--

事業効果	・別紙 活動報告書のとおり
------	---------------

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	特になし

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。

活動報告書

1 団体名 灯
2 活動内容 目的：子どもたちの第3のいばしょづくり、子どもたちのニーズを把握する。 日時：毎週日曜日 10-14時(令和4年9月25日～計25回) 場所：亀川中央町二区公民館 内容：一緒に遊んだり、話したり、ご飯を食べる。 利用者：小学生 5-10名程度 不定期でイベントを開催 ボウリング、ビンゴ、フィリピンの子供と ZOOM でお話し、バッグにお絵かきをするワークショップ
3 活動期間 令和4年 9月25日 から 令和5年 3月31日まで
4 活動実施内容 毎週日曜日の10時から14時にかけて、子ども達と一緒に遊び、ご飯を食べ、向き合うことで、子どもたちの居場所づくりに取り組んだ。9月25日から開始し、計25回開催した。灯主催のイベントやコラボイベントも3回ほど実施した。1つ目のイベントでは、地元の企業の方に協賛していただき、布にかける絵の具を使用し、トートバックにお絵かきをするワークショップを行った。2つ目のイベントでは、ボウリングやビンゴを行った。3つ目のイベントでは、Dream of Tommorow さんという団体とコラボさせていただき、フィリピンの子どもたちとの交流イベントを行った。
5 活動の成果 9月末から始まった活動で、最初は平均5人前後子どもたちが来てくれていたが、3月には10人前後の子ども達が来てくれるようになった。子どもたちは、普段思っていることを話してくれたり、定期的に来てくれていたりしている。親御さんからは、「いつもはたくさん笑わない子がここにいるとたくさん笑っている、きっと楽しいのだろうな」「満足した顔で帰ってくる」等の声をいただく。このことから、当団体の目的である、子どもたちの居場所づくりは徐々にできているのではないかと考える。
6 反省点や今後の目標 子どもたちの居場所を作りたいということから、肯定的な言葉を使うように、またなるべく自由に過ごせる環境づくりを意識した。そのことで少々自由すぎる点も出てきてしまった。学校で注意する点は注意しつつ、子どもたちがまた来たいと思えるあたたかい場所づくりを行っていきたい。今後は、関わっているメンバー、お手伝いできてくださっている方々、地域の方を含め、みんなで子どもを支える持続可能な活動を行っていきたいと考える。今関わる人だからこそできる活動内容を行い、10年20年先、子どもたちが大人になった時の記憶の中で支えになれる、あくまで第三の居場所という立ち位置での活動を行っていききたい。

補助金等成果報告書

補助金等名	地域のまつり補助金		
団体等名	鉄輪湯あみ祭り NPO 法人鉄輪あすなろ会		
事業費	348,435 円	補助金額	102,000 円

事業の内容	事業内容
	<p>本年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、規模を縮小し、稚児行列を中心にを行った。一遍上人が祀られる温泉山永福寺を起点に、各旅館や施設が献湯筒を奉納しお湯の恵みに感謝する行事や、一遍上人の御室を担ぎ、ゆかりのある渋の湯やむし湯で上人像を清める行事および稚児行列などを開催した。</p> <p>9/22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お接待 鉄輪に伝わる伝統行事「お接待」を行った ・献湯筒供養 専用の竹筒にお湯をくべて奉納。各施設や旅館は各自のお湯を奉納し観光客や湯治のお客様も感謝の気持ちを献湯できるようにした。 ・献湯筒の奉納 お湯を各自の無病息災を祈り温泉をくべて持ち込み、境内に奉納する <p>9/23</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一遍上人法要 温泉山永福寺にて法要・湯あみ法要 一遍上人像を御室担ぎして、上人湯やむし湯でお清めをする ・稚児行列

成果目標	<p>本年はコロナウイルス感染拡大防止の観点から、最小限の行事にとどめて開催するため、観光客の集客は望まないが、旅館、商工会、自治会など横の連携を深め、次回に向けての体制を整える</p> <p>鉄輪温泉の豊かな湯の恵み、むし湯や鉄輪の塩化物泉の効果効能、古くからの言い伝えやご利益や云われなどを、お祭りというイベントを通じて広く広報する。鉄輪の温泉の効果や癒しを期待して保養や湯治に訪れる客数を増やし、今後の観光誘客や宿泊数につながるようにしたい</p>
------	---

事業効果	<p>毎年行なっている行事を絶やさず続けていくことに意義があるとし、3年ぶりに稚児行列を復活させた、多くの子ども達や地域住民、観光客が参加し、地域の伝統文化に触れる機会を提供することができた。</p> <p>温泉コンシェルジュの学生の参加などもあり、鉄輪の温泉の恵みに感謝する姿勢を多くの方にお伝えすることができたと思う。</p>
------	---

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	特になし

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。

補助金等成果報告書

補助金等名	地域のまつり補助金		
団体等名	べっぷ浜脇薬師祭り ツーリズム浜脇まちづくり推進協議会		
事業費	1,384,157円	補助金額	415,000円

事業の内容	<p>風流見立て細工、薬師如来法要、薬師お接待、子ども太鼓、子どもダンス カラオケ大会、薬師音頭踊、お化け屋敷</p>
-------	---

成果目標	<p>別府夏祭り最後のイベントとして浜脇地区16町内が一致団結してこの祭りを盛り上げていくことを目標としています。 地域の子どもたちに伝統行事の継承を目標としています。 コロナの関係で今年は対策を講じながら実施します。 食のバザールと共催しますので人出はあると思います。</p>
------	---

事業効果	<p>コロナ禍のため規模を縮小して2日間の開催となったが、地域の若い世代の発案により、キッチンカーや屋台が20店舗以上出店し、家族連れを始めとする多くの方に来場していただき、2日間で延べ3,000人の来場があった。幅広い世代に浜脇温泉の歴史や市指定無形民俗文化財である見立て細工を知っていただき、PRすることができた。浜脇薬師踊では、地域の団体をはじめ多くの一般参加者が踊りの輪に加わり、地域住民や観光客が伝統行事を体験し、互いに交流できる機会となった。</p>
------	---

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	①できた	2 概ねできた	3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	①できた	2 概ねできた	3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	なし		

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。